

## 【学級活動】での活用事例

(小学校第3・4学年)

### 【活用した資料】

- 小学校版「心しなやかに」 p.122～p.123 第三章 「⑩ みんなで、すてきな学級をつくろう」

### 【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 4-（4）「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。」

### ○ 望ましい学級集団を形成する手立てとして

中学年の子供たちは、友達同士のつながりが深まり、これまで以上に充実した集団生活を送ることができるようになってきます。反面、仲良し同士で自分たちだけの世界を確立して楽しもうとする傾向もあり、集団内や集団間での衝突も見られるようになります。このような時期に、望ましい学級集団を意識させ、自分たちでこの学級をよりよいものにしていくのだという意識を高めることが重要です。

### ○ 1月初旬の学級会で


冬休み明けの1月初め、学級会で学級の目標を確認する話し合いをした時に、『心しなやかに』p.122「⑩ みんなで、すてきな学級をつくろう」を活用しました。学級会の事前に、学級のよいところを見付けさせておき、書き込みをさせました。書き込みをさせたことで、学級会での発言がいつもより活発になりました。

また、学級会の後、よりよい学級にするために自分にできることは何かを考えさせ、p.123に記入をさせました。

残りの3か月で、みんなで協力し、もっと楽しい学級にしていこうという気持ちを高めさせることができました。

### ○ 行事のあとや9月の初めにも活用

行事のあとや夏休み明けの学級会でも同じページを活用することができます。教師から指示されてではなく、自分たちで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくっていかうとする自主的な活動に発展させるために、このページを活用することができました。



休み時間に、みんな遊ぶ日を決めて、もっとなかよくなれるようにしよう。